

兵庫県 の 地震 活動

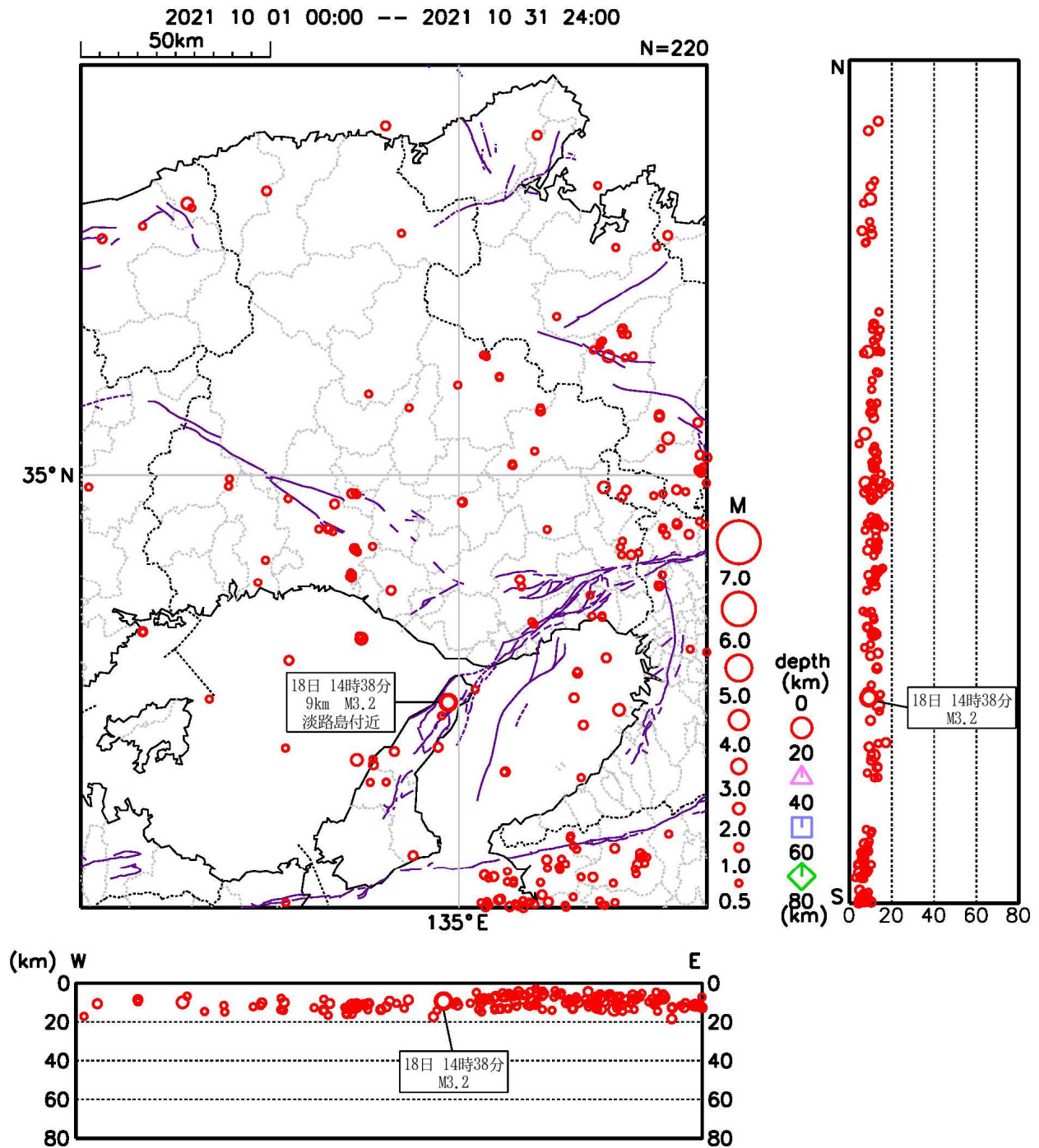
2021 年（令和 3 年）10 月

震央分布図・断面図	1
概況	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	3
一口メモ	
兵庫県内の主な活断層	5

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

――10月の概況――

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を3回観測しました。

7日22時41分 千葉県北西部の地震（深さ75km、M5.9、前掲震央分布図範囲外）により、豊岡市で震度1を観測しました。

16日21時48分 京都府南部の地震（深さ12km、M3.9、前掲震央分布図範囲外）により、三田市で震度2を観測したほか、加古川市、三木市、丹波篠山市、加東市、姫路市、洲本市、猪名川町で震度1を観測しました。

18日14時38分 淡路島付近の地震（深さ9km、M3.2）により、明石市、淡路市で震度1を観測しました。

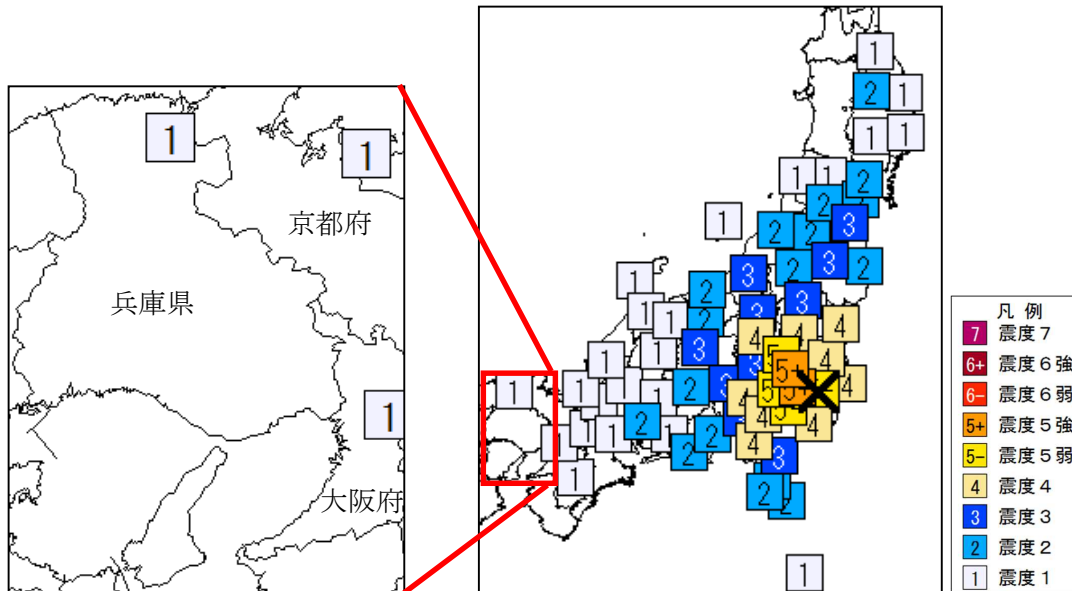
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード	全国最大震度
各地の震度（兵庫県内）						
10月7日 22時41分	千葉県北西部	35° 35.4'	140° 06.2'	75km	M5.9	震度5強
震度1：豊岡市桜町						
10月16日 21時48分	京都府南部	35° 04.2'	135° 37.1'	12km	M3.9	震度3
震度2：三田市下里*						
震度1：加古川市加古川町,三木市細川町,三木市福井*,三田市下深田,猪名川町紫合*, 丹波篠山市北新町,丹波篠山市杉*,加東市社,加東市天神*,姫路市安田*, 姫路市香寺町中屋*,洲本市物部						
10月18日 14時38分	淡路島付近	34° 33.3'	134° 58.4'	9km	M3.2	震度1
震度1：明石市相生*,淡路市富島,淡路市久留麻*,淡路市郡家*						

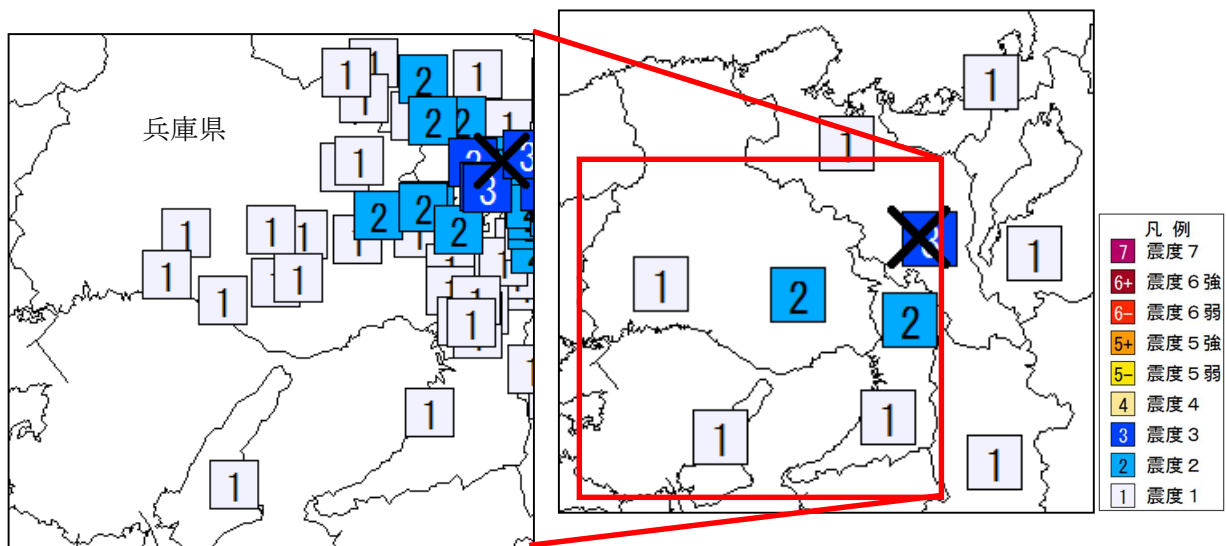
震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

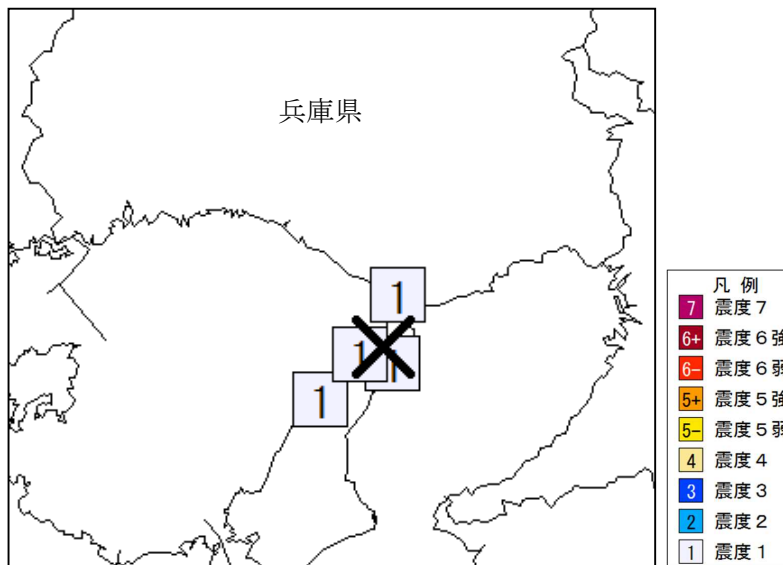
10月7日 22時41分に発生した、千葉県北西部の地震による震度分布図（右図：地域震度※、左図：観測点震度）。×印は震央を表す



10月16日 21時48分に発生した、京都府南部の地震による震度分布図（右図：地域震度※、左図：観測点震度）。×印は震央を表す



10月18日14時38分に発生した、淡路島付近の地震による震度分布図。×印は震央を表す



※ 地域震度：国内を 188 の地域に区分し、その地域内の震度観測点のうち最大の震度を観測した地点の震度を地域震度としています。兵庫県は、北部、南東部、南西部、淡路島の4地域に区分されています。

11月5日の「世界津波の日」関連の取り組みとして、県内各地で「津波一斉避難訓練」が実施されました。いっどこで発生するかわからない地震や津波に対し、身の安全を守る方法や備えを確認できたでしょうか。今月は、大きな揺れを伴う可能性のある内陸の浅い地震と関係の深い「活断層」について紹介します。

【 兵庫県内の主な活断層 】

右図に兵庫県の主要な活断層を赤線で示しています。県南西部に岡山県から延びる山崎断層帯、南東部には京都府・大阪府から延びる有馬-高槻断層帯があります。さらに、有馬-高槻断層帯の南側から淡路島にかけて六甲・淡路島断層帯が、淡路島南部には中央構造線断層帯（紀淡海峡-鳴門海峡）があります。また、大阪湾には大阪湾断層帯があります。県北部には、京都府から延びる山田断層帯があります。

【 兵庫県内の主な地震 】

右図に示す黄丸は、1919年以降に発生したマグニチュード5以上の地震の震央です。六甲・淡路島断層帯で発生した1995年兵庫県南部地震など内陸で発生する地震の多くは主要な活断層の周辺で発生していることがわかります。また、歴史資料をさかのぼれば、県内で868年にM7.1の地震が起きたことが知られており、活断層調査などの結果、山崎断層帯の活動によるものと考えられています。一方、1925年に発生した北但馬地震のように、既知の活断層からやや離れた場所で発生した地震もあります。活断層の存在は、今後大きな地震が発生する可能性があることを示していますが、断層のずれが地表に現れていなかったり、土壌の堆積や浸食によって見えなくなっている断層が他にあるかもしれません。日本ではどこで地震が発生してもおかしくないという認識のもと、定期的に訓練を行うなど、日頃からの備えをお願いします。

(参考) 気象庁 HP 「活断層の地震に備える」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/katsudansou/index.html>

地震調査研究推進本部 HP 「兵庫県の地震活動の特徴」

https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_kinki/p28_hyogo/

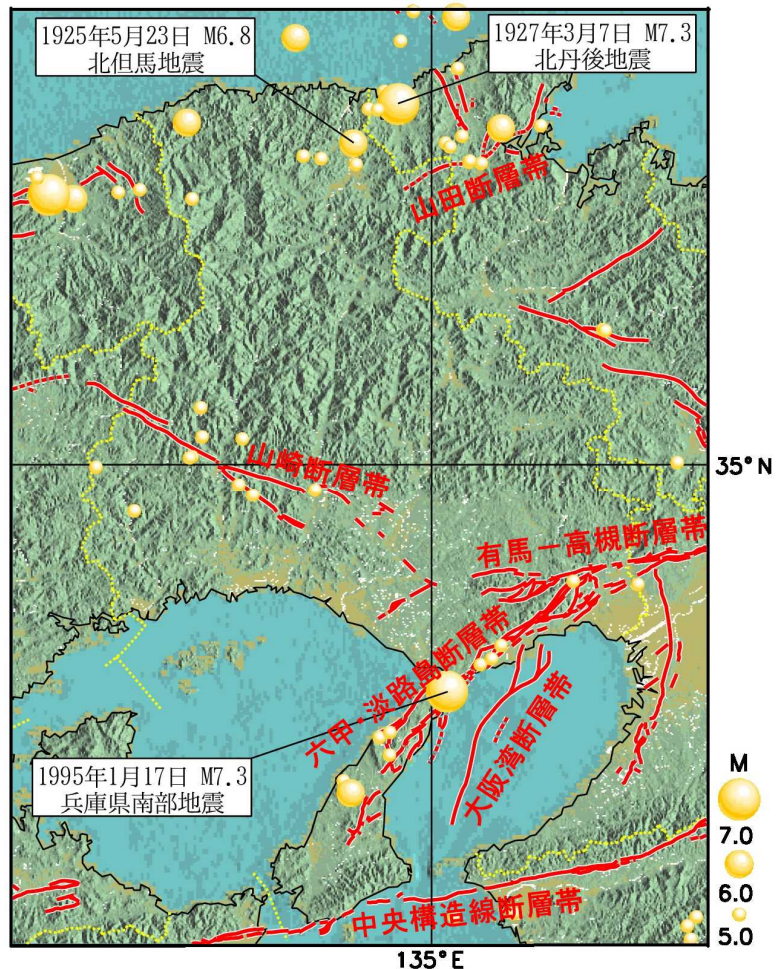


図 兵庫県および周辺の主な活断層(赤)および1919年以降に図の領域内で発生したM5以上の地震の震央(黄丸)